

## くすりのしおり

620008890

2015年03月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。	
<b>商品名：ドパストン静注 50mg</b> <b>主成分：</b> レボドパ (Levodopa) <b>剤形：</b> 注射剤 <b>シート記載：</b>	
<b>この薬の作用と効果について</b> ドパミンに変わり、脳内に取り込まれて、不足しているドパミンを補い、パーキンソン病やパーキンソン症候群に伴う無動～寡動、筋硬直、振戦に奏効し、日常生活動作を改善します。 通常、パーキンソン病、パーキンソン症候群の治療に用いられます。	
<b>次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。、閉塞隅角緑内障がある。</li><li>・妊娠または授乳中</li><li>・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。</li></ul>	
<b>用法・用量（この薬の使い方）</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・あなたの用法・用量は&lt;&lt;&lt; :医療担当者記入&gt;&gt;&gt;</li><li>・通常、1日1～2回に分けてゆっくり静脈内に注射するかまたは点滴静注します。</li><li>・効果を見ながら使用期間を決めていきます。</li></ul>	
<b>生活上の注意</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・眠気などが起こることがありますので、注射のあとは、自動車の運転や危険を伴う機械の操作は避けてください。</li></ul>	
<b>この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）</b> 主な副作用として、発疹、貧血、悪心・嘔吐、不随意運動、食欲不振、頭痛・頭重感、不眠などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。 <b>まれに下記のような症状があらわれ、[ ] 内に示した副作用の初期症状である可能性があります。</b> <b>このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・高熱、筋硬直、手足の震え・けいれん [Syndrome malin]</li><li>・時間・場所などが判らない、ない物が見え・ない音が聞こえる、全身倦怠感 [錯乱、抑うつ、幻覚]</li><li>・全身倦怠感、動悸・息切れ、赤褐色尿 [溶血性貧血、血小板減少]</li><li>・前触れのない突然の眠気 [突発的睡眠]</li><li>・みぞおちの痛み、圧痛、嘔吐 [胃潰瘍・十二指腸潰瘍の悪化]</li></ul> <b>以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。</b>	
<b>保管方法 その他</b>	
<b>医療担当者記入欄</b>	年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。